

して説明会を行う。農地、水、環境向上活動や支援としてトータル当たり四千四百円、農地環境の保全を図る。

この制度の内容については別に行い参加者の意見を頂きながら個々の農家の方へ周知徹底していこうと思う。



興奮が冷めぬ若者達

## 角館のお祭り山車会館の

### 考えはないか

角野 浩民 議員



**質問** 観光立市を目指す仙北市として観光客の滞留時間を持たせるためにも角館のお祭りの山車会館の建設を考

えるべきと思う、通年の観光客数を勘案すれば投資に十分見合う入場料が見込めると思うが市長の考えは。

**市長** 角館の祭り山行事は仙北市としても非常に大きな観光行事、また伝統行事であり、こうした誇るべきものを、その時だけでなく他の時期にきた観光客にも披露できる何等かの場所、施設の必要性は理解している。

旧角館町の議会において平成七年の九月にこの陳情の採択をしており、この問題は新市に引き継がれたものと理解している。

角館の祭りは囃子、山車のぶつけ合いが特徴でありこう

したものを実際に実演できる状態にするのか映像等でカバーするのか今後の課題だが前向きに考えたい。なお角館の祭りに留まらず仙北市内の各地域に残っている伝統芸能の実演等を含めて所管になるであろう教育委員会と相談をしていきたい。

**質問** 生産調整、減反の続く中で新規開田をしている市民がいるがこのまま放置しては他の農家に悪影響が及ぶ恐れがある。罰則処理などを科すことが出来ないか。

**市長** 合併前に当事者に自粛を促すため色々話し合いをしたと伺っている。残念ながら不調だった様だ。新規開田に対する罰則規定がなく自粛を申し入れるしか方法がないのが現状だ。

難しい現状だが今後の仙北市、地域振興局の提唱している。強い農業政策に鑑みても粘り強く説得、理解を求めてゆく。

## 農業集落の将来はどうなる

佐藤 生治 議員



**質問** 平成十九年度より認定農家四ヘクタール以上、

集落営農組合二十ヘクタール以上を重点的に支援すると政府は発表した。

**市長** 農家は今まで政府の猫の目農政にふりまわされてきた。認定農家と認定農家を含めた集落営農組合の立ち上げに行政はどう指導していくか、またそのいずれにも入れない農家をどの様に手助けをしていくのかを聞きたい。

**市長** 今の農政の理解をいたさなくことから始めていく。認定農家の方々に地域の中心となっていたいただき、地域をまとめていただきた。

今の政策を受ける側の対応作りが大切だと思う。

**質問** 消費者が安全で安心して食べていただく為の作物作り、トレーサビリティに加えて、今年の五月から

ジティブリスト制度（農薬残留基準）が施工される。基準値を超えた食品は流通、販売が禁止されるという厳しい制度だ。

**市長** この制度への対応と指導を急ぐべきではないか。農薬の問題は、個人個人の考えでの農薬散布ではクリアーできないと考えている。

そんな意味もふくめて集落営農は大切な事だと思う。散布範囲、何日前使用なのか、農薬使用基準の判断をしていただきたい。行政としては情報とか、資料の提供をしていきたい。最終的には農家の判断にゆだねるしかないと思う。



使用方法に注意!!